

彙 報

教員の主な研究活動・社会活動 (2020年度)

*2019年度紀要掲載分以降（2019年11月から2020年10月まで）

**2020年度に新規に採用された教員は過去5年間の業績を含む

***各学科ごと教員五十音順に掲載（2020年度紀要は、「福祉コミュニティ学科」教員分を先に掲載する）

****彙報の執筆要領は以下の通り

（氏名）〇〇 〇〇

I. 主な研究活動

1. 著書・論文・作品発表・演奏等
2. 学会発表
3. 報告書
4. 科研費等研究
5. その他

II. 主な社会活動

1. 所属学会・職能団体および役職等
2. 行政・関係団体活動等
3. 研修会・講演会等
4. その他

※彙報編集作業にご協力ください。

①文字について

フォントは本文に関しましては「ゴシック」で、数字に関しましては「Century」で、フォントサイズは10.5での入力をお願いいたします。

②項目について

著書、論文等は必要に応じて、以下（1）（2）等見出しを立ててご記入ください。他の項目に関しましては同様にお願いいたします。

③本紀要において記載すべき著書・論文・学会発表等の表記方法は、先生方の所属されている主な学会における表記方法でかまいません。

大津 雅之

I. 主な研究活動

1. 著書・論文・作品発表・演奏等

研究ノート

- (1) 共著：○大津雅之（山梨県立大学）・鳥居美佳子（山梨県立大学）・里見達也（山梨県立大学）「障害者福祉分野のソーシャルワークにおける食事支援・栄養指導の重要性－社会福祉士と管理栄養士および特別支援学校教諭との連携再考－」『山梨県立大学人間福祉学部紀要』第15号、79 - 89ページ、2020年3月。

II. 主な社会活動

1. 所属学会・職能団体および役職等

所属学会

日本社会福祉学会（会員）

日本ヘルスプロモーション学会（会員）

職能団体

日本社会福祉士会（会員）

山梨県社会福祉士会（会員・理事）

日本介護福祉士会（会員）

山梨県介護福祉士会（会員）

2. 行政・関係団体活動等

- (1) 山梨県障害者自立支援協議会 相談支援・人材育成部会 協力員、2017年度～現在
- (2) 中央市・昭和町地域自立支援協議会 協議会委員、2018年度～現在
- (3) 一般社団法人山梨県社会福祉士会 理事、2020年度～現在
- (4) 令和2年度中央市・昭和町計画相談事業所連絡会スーパーバイザー（2020年度）
- (5) 令和2年度中央市・昭和町障がい者相談支援センター「穂のか」事例検討会アドバイザー（2020年度）

3. 研修会・講演会等

- (1) 日本ソーシャルワーク教育学校連盟関東甲信越ブロック（開催主管支部：山梨県支部）第15回ソーシャルワーク教育推進大会、山梨県立大学、第2分科会「住民・学生・教員の三者間で行われる教育的実践」コーディネーター、2019年12月7日
- (2) 令和2年度山梨県相談支援従事者現任研修「人材育成 スーパービジョン」講師 山梨県福祉プラザ4階 大ホール：2020年9月8日
- (3) 令和2年度 中央市・昭和町計画相談事業所連絡会「コロナ禍におけるソーシャルワーク及びスーパービジョンとは何か」（講義＋演習）講師 中央市・昭和町障がい者相談支援セ

ンター「穂のか」より ZOOM 配信で開催：2020年9月25日・11月27日・2021年1月29日・
3月26日 = 計4回（予定）

坂本 玲子

I. 主な研究活動

1. 研究ノート

(1) アスペルガー症候群を持つ方の就労における「自分運営マニュアル」の意義：山梨県立大学人間福祉学部紀要15, 2020.

2. 学会発表

(1) 看護学実習における行動特性チェックリストの信頼性・妥当性の検討：第29回日本看護学教育学会学術集会, 9月, 盛岡市.

II. 主な社会活動

1. 所属学会

日本精神神経学会会員、日本精神病理・精神療法学会会員、日本認知療法学会会員、日本不安学会評議員、日本睡眠学会会員、日本病跡学会会員

2. 行政・関係団体等活動

(1) 発達障害者支援体制整備検討委員会委員（山梨県）、2014年～現在

(2) 山梨県男女共同参画審議会委員、2018年～現在

3. 研修会・講演会等（抜粋）

11月14日 河口湖町教育委員会 自立のためのメンタルヘルス（中学2年生対象）

1月11日 男女共同参画推進センター：大人のうつ病（保育所連合会）

1月30日 中北教育事務所：共に輝き続けるために－脳と心の育て方－（地域教育推進連絡協議会）

1月31日 泉小学校：こどもの脳と心の育て方（幼児の母親対象）

2月13日 幼児教育センター：勇気づけの心理学（乳幼児の保護者対象）

2月27日 ファミリーサポート昭和：子どもの心の発達と関わり（子育てサポーター対象）

7月16日 笛吹市ファミリーサポートセンター：心の発達と関わり方（子育てサポーター対象）

10月7日 勝山中学校：思春期の脳と心（中学2年生対象）

10月13日 甲陵中学：思春期脳とのつきあい方（PTA対象）

10月24日 男女共同参画推進センター：大人のうつ病（一般県民対象）

高石 啓人

I. 主な研究活動

1. 著書・論文・作品発表・演奏等

(1) 著書

- ・高石啓人（2020）「スクールソーシャルワーカーと子ども相談」喜多明人編著『子どもの学ぶ権利と多様な学び』エイデル研究所、192-209

(2) 論文

- ・高石啓人（2015）「教師の貧困家庭対応研究：子どもの権利保障に着目して」『子どもの権利研究』27, 222-234
- ・高石啓人（2015）「教師とスクールソーシャルワーカーの連携に関する研究：教師の視点から見た連携プロセスに着目して」『早稲田教育学研究』7, 35-49
- ・高石啓人（2016）「教育における福祉機能論に関する研究—スクールソーシャルワークの役割に焦点をあてて—」『早稲田大学文学研究科紀要』62, 838-852
- ・高石啓人（2017）「スクールソーシャルワーカー法制化をめぐる課題と展望」『早稲田大学文学研究科紀要』63, 91-108
- ・馬場幸子・高石啓人（2017）「『日本版スクールソーシャルワーク・実践スタンダード』の開発：研究者と実践者との共同開発プロセスに着目して」『東京学芸大学総合教育科学系』69(2), 337-351
- ・馬場幸子・望月彰・高石啓人・鈴木庸裕（2018）「スクールソーシャルワーク実践スタンダードを用いた学習会とスクールソーシャルワーカーの課題意識」『学校ソーシャルワーク研究』14, 2-14

2. 学会発表

- ・高石啓人（2015）「教師とスクールソーシャルワーカーの連携に関する研究 教師の視点から見た連携プロセス」第10回日本学校ソーシャルワーク学会、福岡国際会議場
- ・高石啓人（2016）「スクールソーシャルワーク研究の方法論的考察」日本教育学会第75回大会、北海道大学
- ・高石啓人（2016）「スクールソーシャルワーカーによる子ども支援のあり方に関する研究」日本社会福祉学会第64回秋季大会、佛教大学
- ・Akito Takaishi（2017）“What is the role of School Social Worker in Japan?”20th Annual National School Social Work Conference, Sheraton Hotel and Marina
- ・高石啓人（2017）「スクールソーシャルワーカーに求められる役割に関する研究—子ども・保護者の語りから—」日本社会福祉学会第65回秋季大会、首都大学
- ・高石啓人（2018）「教師から捉えたスクールソーシャルワーカーの役割に関する研究」日本教育学会第78回大会、宮城教育大学

3. 報告書

- ・高石啓人（2019年）ユニバーサル財団調査研究報告集「教師の視点から見たスクールソーシャルワーカーの役割に関する調査研究」

4. 科研費等研究

- ・ 科学研究費助成事業 <挑戦的萌芽研究>
「子どもの学習権保障への参加における市民性の育成とコミュニティの発展に関する研究」
研究分担者（2015年度～2017年度）
- ・ 科学研究費助成事業<若手研究>
「子どもの権利条約に基づくスクールソーシャルワーカーと教師の連携に関する調査研究」
研究代表者（2018年度～2020年度）
- ・ 科学研究費助成事業<基盤研究（B）>
「子どもの権利を基盤とした自治体子ども政策の評価検証に関する実証的研究」研究分担者
（2019年度～2022年度）

5. その他

特になし

Ⅱ. 主な社会活動

1. 所属学会・職能団体および役職等

- ・ 日本学校ソーシャルワーク学会（関東甲信越ブロック運営委員）
- ・ 日本社会福祉学会
- ・ 日本教育学会
- ・ 日本教育社会学会
- ・ NPO・NGO 子どもの権利条約総合研究所 事務局

2. 行政・関係団体活動等

- ・ 甲府市子どもの権利擁護委員

3. 研修会・講演会等

特になし

4. その他

特になし

高木 寛之

I. 主な研究活動

1. 著書・論文・作品発表・演奏等

著書

- (1)「社会福祉士国試対策過去問題集 2021 専門科目編 (現代社会と福祉担当)」福祉教育カレッジ、2021

論文

- (1)「地域の実情」に応じた地域の類型化と地域づくりの支援方法に関する考察 見守り活動の構築過程を通して 地域福祉実践研究 (11) 2020年 6月

2. 学会発表

- (1) 地域包括ケアシステム構築における個別支援と地域支援をつなぐ事例分析に関する研究－支援良好事例分析からみる地域課題－ 日本地域福祉学会 第34回大会、2020

II. 主な社会活動

1. 所属学会・職能団体および役職等

所属学会

日本社会福祉学会、日本福祉教育・ボランティア学習学会、日本地域福祉学会、福祉社会学会、日本ソーシャルワーク学会、日本社会学会

2. 行政・関係団体活動等

- (1) 神奈川県川崎市多摩区福祉教育推進委員会 副委員長 2018～現在
- (2) 愛媛県松野町社会福祉協議会 地域福祉活動計画 アドバイザー 2014～現在
- (3) 愛媛県砥部町社会福祉協議会 地域福祉活動計画 アドバイザー 2015～現在
- (4) 愛媛県愛南町社会福祉協議会 地域福祉活動計画 アドバイザー 2015～現在
- (5) 山梨県富士河口湖町地域包括ケアシステム アドバイザー 2016～現在
- (6) 全国社会福祉協議会 全国ボランティア・市民活動振興センター運営委員 2017～現在
- (7) 愛媛県松前町社会福祉協議会 地域福祉活動計画 アドバイザー 2017～現在
- (8) 山梨県富士川町社会福祉協議会 地域福祉活動計画 アドバイザー 2017～現在
- (9) 愛媛県愛南町社会福祉協議会 福祉教育推進委員会 アドバイザー 2017～現在
- (10) 山梨県甲州市社会福祉協議会 地域福祉活動計画 アドバイザー 2018～現在
- (11) 山梨県南アルプス市 地域福祉計画 アドバイザー 2018～現在
- (12) 山梨県南アルプス市社会福祉協議会 地域福祉活動計画 アドバイザー 2019～現在
- (13) 愛媛県西条市地域包括ケアシステム アドバイザー 2018～現在
- (14) 愛媛県西条市社会福祉協議会 地域福祉課 アドバイザー 2019～現在
- (15) 山梨県笛吹市自立支援協議会 アドバイザー 2019～現在
- (16) 神奈川県川崎市多摩区福祉教育推進委員会 アドバイザー 2020～現在
- (17) 南アルプス市高齢者いきいきプラン 策定委員長 2020～現在
- (18) 南アルプス市成年後見制度利用促進計画 策定アドバイザー 2020～現在

- (19) 笛吹市第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画 策定アドバイザー 2020～現在
- (20) 南アルプス市地域密着型サービス運営委員会 委員 2020～現在
- (21) 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟「新たな社会福祉士養成カリキュラムにおける研修のあり方に関する調査研究事業」委員 2020～現在
- (22) 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟「新たな社会福祉士養成カリキュラムにおける研修のあり方に関する調査研究事業」山梨県担当 2020～現在

3. 研修会・講演会等

(2019.4～2020.3)

- (1) 笛吹市社会福祉協議会 見守りネットワーク研修会 講師
- (2) 甲斐市社会福祉協議会 障がい者基幹相談支援センター住民研修会 講師
- (3) 甲州市社会福祉協議会 職員研修会 講師
- (4) 甲州市社会福祉協議会 支部社協研修会 講師
- (5) 甲州市社会福祉協議会 地域福祉活動計画策定座談会 講師
- (6) 都留市社会福祉協議会 福祉教育ボランティア研修会 講師
- (7) 北杜市 高齢者集いの場運営委員会交流会 講師
- (8) 北杜市 介護支援ボランティア研修会 講師
- (9) 富士河口湖町 協議体 講師
- (10) 南アルプス市社会福祉協議会 地域福祉活動計画策定員会研修会 講師
- (11) 南アルプス市 職員研修会 講師
- (12) 南アルプス市 地域福祉施策推進研修会 講師
- (13) 韮崎市 協議体研修会 講師
- (14) 山梨県社会福祉協議会 市町村社会福祉協議会ボランティア担当者研修会 講師
- (15) 山梨県主任介護支援専門員 養成講習会 講師
- (16) 山梨県社会福祉士会 国家試験対策講座 講師
- (17) 山梨県社会福祉士会 地域包括部会 部会員研修
- (18) 日本認知症グループホーム協会第7回 認知症グループホーム実践発表会 記念講演会 講師
- (19) 障害者センターりんく 職員研修会 講師
- (20) ソーシャルワーク教育推進大会 分科会シンポジスト

【県外】

- (1) 愛南町社会福祉協議会 地域福祉活動計画振り返り研修会 講師
- (2) 愛南町社会福祉協議会 住民座談会 講師
- (3) 愛南町社会福祉協議会 福祉教育推進委員会研修会 講師
- (4) 愛南町社会福祉協議会 サロン研修会 講師
- (5) 愛南町社会福祉協議会 小地域活性化事業研修会 講師
- (6) 砥部町社会福祉協議会 住民座談会
- (7) 砥部町社会福祉協議会 地域福祉懇談会 講師

- (8) 砥部町社会福祉協議会 職員研修会 講師
- (9) 砥部町社会福祉協議会 サロン研修会 講師
- (10) 砥部町社会福祉協議会 地域福祉活動セミナー 講師
- (11) 松野町社会福祉協議会 地域福祉活動計画策定委員会研修会 講師
- (12) 松前町社会福祉協議会 地域福祉活動計画策定員会研修会 講師
- (13) 松前町社会福祉協議会 住民座談会 講師
- (14) 松前町社会福祉協議会 社会福祉大会 講師
- (15) 西条市社会福祉協議会 サロン研修会 講師
- (16) 西条市社会福祉協議会 職員研修会 講師
- (17) 西条市社会福祉協議会 支部社協職員研修会 講師
- (18) 西条市地域包括支援センター 協議体 ワーキンググループ研修会 講師
- (19) 愛媛県9町社協サミット 講師
- (20) 愛媛県3町社協サミット 講師
- (21) 愛媛県社会福祉協議会 地域づくり研修会 講師
- (22) 愛媛県老人クラブ連合会 健康づくり大学校 講師
- (23) 川崎市川崎区社会福祉協議会 住民向け福祉教育研修会 講師
- (24) 川崎市多摩区社会福祉協議会 教員向け福祉教育研修会 講師
- (25) 東大和市 住民向け研修会 講師
- (26) 浜松市社会福祉協議会 天竜地区社会福祉協議会 住民研修会 講師

柳田 正明

I. 主な研究活動

1. 著書・論文・作品発表・演奏等

1. 単共著『社会福祉基礎』改定版 実教出版 文部科学省検定済高校福祉科教科書 2019
2. 単共著『介護福祉基礎』改定版 実教出版 文部科学省検定済高校福祉科教科書 2019
3. 単共著『Q & A 障害者福祉・支援の手引』追録58号以降4回 新日本法規 2018
4. 編著 編集代表『わかりやすい障害者福祉の実務』新日本法規 追録2・3号 2018
5. 単共著『Q&A 社会福祉法人の法務・会計・税務』新日本法規 追録 2018

II. 主な社会活動

1. 所属学会・職能団体および役職等

日本社会福祉学会、日本介護福祉学会、日本行動分析学会、日本発達障害学会、日本リハビリテーション連会科学学会

2. 行政・関係団体活動等

- ・日本リハビリテーション連携科学学会理事（研究推進担当）（2017年3月から）
- ・独立行政法人重度知的障害者総合施設のぞみの園研究会議委員
- ・独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園研究倫理審査会委員
- ・新宿区介護認定審査会座長
- ・墨田区障害認定審査会委員
- ・墨田区障害者自立支援協議会委員（副委員長）
- ・独立行政法人重度知的障害者総合施設のぞみの園参事（調査研究担当）
- ・日本知的障害者福祉協会社会福祉養成所運営委員会委員
- ・社会福祉法人旭出生産福祉園オンブズパーソン
- ・社会福祉法人立正光生園監事
- ・山梨県障害者施策委員会委員
- ・山梨県指定障害者施設選定委員会委員長
- ・甲府市生活支援連携会議議長
- ・川崎市民間活用委員会委員
- ・知的障害者福祉協会支援専門員養成課程スクーリング講師「知的障害者福祉総論」担当
- ・日本知的障害者福祉協会社会福祉士養成所講師
- ・認定社会福祉士機構登録認定社会福祉士暫定スーパーバイザー

池田 充裕

I. 主な研究活動

1. 報告書

- (1) 池田充裕「シンガポール共和国」公益財団法人・教科書研究センター『海外教科書制度研究調査報告書』2020年3月31日、26頁、95-102頁
- (2) 池田充裕・内藤さやか「山梨県内における小学校『外国語科』の授業に対する教員の意識調査について」研究代表者：高野美千代『山梨県立大学地域研究センター共同研究「山梨県の小学校英語教育のさらなる充実を目指す研究」研究成果報告書』2020年3月、4-6頁

2. 科研費等研究

- (1) 研究代表者「シンガポールにおけるアクティブ・ラーニングの評価・改善システムに関する実証的研究」2018～2020年度科学研究費補助金・基盤研究（C）課題番号18K02392
- (2) 海外教科書制度調査研究委員会・研究協力者、2018年9月11日～2020年3月31日、公益財団法人教科書研究センター

3. その他

- (1) 山梨県立大学地域研究交流センター地域研究事業（共同研究）研究プロジェクト「山梨県の小学校英語教育のさらなる充実を目指す研究」（研究代表者：高野美千代）に共同研究者として参加
- (2) 山梨県立大学地域研究交流センター研究プロジェクト「日本語指導が必要な外国人児童生徒のライフチャンスー高校進学から卒業までの支援体制構築に向けて」（研究代表者：萩原孝恵）に共同研究者として参加

II. 主な社会活動

1. 所属学会・職能団体および役職等

- ・日本比較教育学会、日本教育学会、異文化間教育学会、日本教育行政学会、日本教育制度学会、日本教育政策学会、日本保育学会

2. 行政・関係団体活動等

- (1) 山梨県教育庁高校教育課山梨県立学校いじめ問題対策委員会（委員長）
- (2) 中央市教育振興基本計画策定委員会（委員長）
- (3) 山梨県教員育成協議会（委員）
- (4) 山梨県少人数教育推進検討委員会（委員）
- (5) 山梨県私立学校審議会（委員）
- (6) 山梨県 A 市いじめ問題専門委員会（委員）
- (7) 山梨県総合教育センター活性化検討委員会（委員）
- (8) 山梨県立中央高等学校・学校評議員会（委員）

(9) 山梨県PTA関係文部科学大臣表彰候補選考委員会（委員）

(10) 公益財団法人しんきん育英会（理事）

3. 研修会・講演会等

(1) 山梨県立大学教員免許更新講習「必修科目 教育の最新事情」講師、「オリエンテーション」担当、2020年7月4日、主催・会場：山梨県立大学

(2) 「子育て支援員研修 地域保育コース（地域型保育）」講師「総合演習」「グループ討議」担当、2020年9月3日、9月14日、主催：山梨県福祉保健部子育て支援課、会場：アイメッセ

(3) 山梨県私学教育振興会幼稚園部会西部地区研究会「幼児理解と保育の記録の取り方」分科会講師、2019年6月5日、7月3日、7月31日、10月16日、11月13日、主催：山梨県私学教育振興会幼稚園部会

太田 研 (新任のため2015年10月－2020年10月)

I. 主な研究活動

1. 著書・論文等

(1) 著書

- 1) 太田 研 (2017). 第9章 事例4 高等学校におけるコンサルテーションの実際 柘植雅義(監修)大石幸二・鎌塚優子・滝川国芳(編集)共生時代の特別支援教育第3巻 連携とコンサルテーション——多様な子どもを多様な人材で支援する—— (pp. 105-114) ぎょうせい
- 2) 大石幸二(監修)遠藤 愛・太田 研 (2018). カンファレンスで深まる・作れる配慮を要する子どものための個別の保育・指導計画 学苑社
- 3) 太田 研 (2019). 反応性アタッチメント障害等の計9問の要点解説と計9項目の用語解説 大石幸二(監修)第1回公認心理師国家試験要点解説と必修用語(計13頁) 文光堂
- 4) 太田 研 (2020). 社会的参照等の計13問の要点解説 大石幸二(監修)標準公認心理師試験対策問題集(計13頁) 文光堂

(2) 論文

- 1) 遠藤 愛・太田 研 (2016). 能動的触知覚による幼児の身体イメージの促進——人物画の分析を通して—— 星美学園短期大学研究論叢, 48, 1-13. 査読無し
- 2) 遠藤 愛・太田 研 (2016). 幼児の能動的触活動による身体イメージの形成——描画における人物画の質的変容—— 日伊研究所報, 12, 42-47. 査読無し
- 3) 太田 研 (2016). 軽度知的障害のある生徒の作業生産性に及ぼす公的目標設定と私的目標設定の影響 星美学園短期大学研究論叢, 48, 14-27. 受賞論文
- 4) 太田 研・遠藤 愛・大石幸二(2017). 能動的触知覚活動による幼児の身体像描出への影響因の探索——身体活動性からの検討—— 星美学園短期大学研究論叢, 49, 43-52. 査読無し
- 5) 太田 研・遠藤 愛(2017). 特別支援学校教育実習生のリフレクション特性に関する探索的検討——実習日誌のテキスト・マイニングを通して—— 日伊研究所報, 13, 44-47. 査読無し
- 6) 太田 研・遠藤 愛・大石幸二(2017). 幼児の身体画の描出に及ぼす能動的触知覚活動の効果 保育学研究, 55(2), 201-212. 査読有り
- 7) 太田 研・脇 貴典(2019). 埼玉県A自治体における特別支援教育を推進する連携の現状と課題(1)——フォーカスグループディスカッションのテキストマイニングを通して—— 星美学園短期大学研究論叢, 51, 61-71. 査読有り
- 8) 脇 貴典・太田 研 (2019). 埼玉県A自治体における特別支援教育を推進する連携の現状と課題(2)——対人援助職の連携に対する意識の質的分析—— 星美学園短期大学研究論叢, 51, 72-82. 査読有り
- 9) 遠藤 愛・太田 研 (2019). 保育学生を対象とした個別の指導計画作成技術の向上を目指す介入——「支援目標」と「手立て」に着目して—— 発達障害支援システム学研究, 18(2), 183-190. 査読有り

- 10) 太田 研 (2020). 特別支援学校高等部において知的障害のある生徒の自己決定を高める指導に関する教員の省察 星美学園短期大学研究論叢, 52, 13-27. 査読有り
- 11) 中内麻美・太田 研・打越みゆき・武田秀美 (2020). 施設実習における事前ボランティア活動の学び——学生の活動報告書の分析—— 星美学園短期大学研究論叢, 52, 28-40. 査読有り
- 12) 太田 研 (2020). 知的障害特別支援学校高等部において作業学習の主体的な学びを支える授業実践——実態把握シートの記述内容の分析を通して—— 法政大学教職課程年報, 18, 88-93. 査読無し

(3) 学会発表

- 1) 太田 研 (2016). 授業のユニバーサルデザイン (UD) 化に必要な個の視点 日本授業 UD 学会埼玉支部大会第 1 回大会紀要, 16-17.
- 2) 太田 研・遠藤 愛・大石幸二 (2016). 幼児の身体イメージに及ぼす能動的触知覚の効果——身体活動性からの検討—— 日本保育学会第69回大会発表要旨集, 778.
- 3) 田中直美・井出麻里子・... (中略) ...・太田 研 (2016). 3年間の保育者養成課程における学生の成長 (1) ——前期・後期の継続した幼稚園教育実習を通して—— 日本保育学会第69回大会発表要旨集, 547.
- 4) 打越みゆき・井出麻里子・... (中略) ...・太田 研 (2016). 3年間の保育者養成課程における学生の成長 (2) ——幼稚園教育実習と保育実習の学生の定期報告文の分析を通して—— 日本保育学会第69回大会発表要旨集, 548.
- 5) 霜田浩信・五十嵐一徳・太田 研・五味洋一・井澤信三 (2017). 知的障害・発達障害児へのセルフ・マネジメントによる支援——セルフ・マネジメントの有効性と課題—— 日本特殊教育学会第54回大会発表論文集, CD-R 自主シンポジウム15.
- 6) 脇 貴典・太田 研・榎本拓哉・春木美紀・大石幸二 (2017). 特別支援学校教員の省察的実践を支える職能発達プログラム 日本特殊教育学会第54回大会発表論文集, CD-R 自主シンポジウム85.
- 7) 太田 研・遠藤 愛 (2017). 能動的触知覚活動による幼児の人物画の大きさの変化 日本保育学会第70回大会発表要旨集, 914.
- 8) 太田 研 (2017). 多様な児童がつながる学級経営 日本授業 UD 学会学級経営部会第 1 回大会紀要, 16-17.
- 9) 霜田浩信・竹内康二・太田 研・若林 功・大石幸二 (2017). 知的障害・発達障害児へのセルフ・マネジメントによる支援 2 日本特殊教育学会第55回大会発表論文集, CD-R 自主シンポジウム6-13.
- 10) 太田 研・遠藤 愛 (2018). 自然物へのアクティブタッチが幼児の人物画描出に及ぼす影響——アクティブビジョンとの比較から—— 日本保育学会第71回大会発表要旨集, 263.
- 11) 大井美緒・遠藤 愛・... (中略) ...・太田 研 (2018). 保育の初学学生の実習不安のカテゴリ分類——幼稚園教育実習の事前指導のあり方—— 日本保育学会第71回大会発表要旨集, 779.
- 12) Ota, K. (2018). Effects of School Consultation in Japanese Part-Time High School: An

- Analysis of Reports Written by Teachers on Student's Present Level of Performance. The 40th Annual Conference of the International School Psychology Association, abstract book, 134.
- 13) 太田 研 (2018). 学級経営を行動分析学から整理する 日本授業 UD 学会学級経営部会第2回大会紀要, 11-12.
 - 14) 霜田浩信・五十嵐一徳・... (中略) ...・太田 研・野呂文行 (2018). 知的障害・発達障害児へのセルフ・マネジメントによる支援3 日本特殊教育学会第56回大会発表論文集, CD-R 自主シンポジウム6-13.
 - 15) 太田 研・脇 貴典 (2018). 特別支援教育における連携の現状と課題 (1) ——フォーカスグループディスカッションのテキストマイニングを通して—— 日本特殊教育学会第56回大会発表論文集, CD-R P2-67.
 - 16) 脇 貴典・太田 研 (2018). 特別支援教育における連携の現状と課題 (2) ——対人援助職の連携に対する意識の質的分析—— 日本特殊教育学会第56回大会発表論文集, CD-R P2-68.
 - 17) 遠藤 愛・太田 研 (2018). 保育学生が作成する個別の指導計画の特徴分析——支援目標と手立ての記述に着目して—— 日本特殊教育学会第56回大会発表論文集, CD-R P5-83.
 - 18) 鈴木 勲・和田一郎・仙田 考・太田 研 (2019). 放課後児童クラブにおける安全・防災対策に関する調査研究 日本保育学会第72回大会発表論文集, K211-K222.
 - 19) 中内麻美・打越みゆき・... (中略) ...・太田 研 (2019). 施設実習に向けた事前指導のあり方——事前ボランティア活動における学生の報告から—— 日本保育学会第72回大会発表論文集, P781-P782.
 - 20) 井出麻里子・大井美緒・... (中略) ...・太田 研 (2019). 幼稚園教育実習での環境構成図作成におけるエラーパターンの分析——初学の保育学生が示した園舎・園庭の構成図から—— 日本保育学会第72回大会発表論文集, P1067-P1068.
 - 21) Ota, K. (2019). A Case Study on the Relationship Between Kinetic School Drawings by Preschool Children and Play on the Preschool Playground, The 20th Pacific Early Childhood Education Research Association International Conference, proceeding, 482-483.
 - 22) 太田 研 (2019). 重度知的発達症者へのビデオセルフモニタリングの効果に影響する学習セットの検討 日本行動分析学会第37回年次大会プログラム・論文集, 102.
 - 23) 霜田浩信・五十嵐一徳・... (中略) ...・太田 研・高浜浩二 (2019). 知的障害・発達障害児へのセルフ・マネジメントによる支援4 日本特殊教育学会第57回大会発表論文集, CD-R 自主シンポジウム4-7.
 - 24) 太田 研・鈴木 勲・仙田 考 (2020). 放課後児童支援員等に求められる専門性および研修に関する現状と展望——有識者と自治体研修担当者へのインタビュー調査を通して—— 日本保育学会第73回大会発表論文集, K469-K470.
 - 25) 鈴木 勲・太田 研・仙田 考 (2020). 放課後児童支援員等に求められる専門性及び資質向上のあり方に関する調査研究——専門的知識と援助技術に焦点をあてて—— 日本保育学会第73回大会発表論文集, K471-K472.
 - 26) 中島千恵子・大井美緒・... (中略) ...・太田 研 (2020). 幼稚園教育実習指導のためのルーブリックを用いた自己評価シートの検討——実習前の基本的マナーに着目して—— 日本保

育学会第73回大会発表論文集, P313-P314.

- 27) 鈴木 勲・和田一郎・太田 研・仙田 考 (2020). 放課後児童クラブにおける研修制度の現状と課題に関する調査研究——放課後児童クラブが設置された自治体の人口規模等に着眼して—— こども環境学研究, 16(1), 46.
- 28) 仙田 考・鈴木 勲・大崎 元・和田一郎・太田 研 (2020). 放課後児童クラブの施設環境の現状と課題——「空間構成」から見た特徴—— こども環境学研究, 16(1), 78.

(4) 報告書

- 1) 太田 研 (2017). 公開講座報告 子どもの自立心を伸ばす子育て 日伊総合研究所報, 13, 62-65.
- 2) 霜田浩信・五十嵐一徳・太田 研・五味洋一・井澤信三 (2017). 知的障害・発達障害児へのセルフ・マネジメントによる支援——セルフ・マネジメントの有効性と課題—— 特殊教育学研究, 54(5), 357-358.
- 3) 脇 貴典・太田 研・榎本拓哉・春木美紀・大石幸二 (2017). 特別支援学校教員の省察的実践を支える職能発達プログラム 特殊教育学研究, 54(5), 433-434.
- 4) 太田 研 (2018). 公開講座報告 親子で楽しむ心理学ワーク 日伊総合研究所報, 14, 56-59.
- 5) 霜田浩信・竹内康二・太田 研・若林 功・大石幸二 (2018). 知的障害・発達障害児へのセルフ・マネジメントによる支援2 特殊教育学研究, 55(5), 390-391.
- 6) 太田 研 (2019). 公開講座報告 高校生のための心理学講座——ストレスは身体に悪い？ ストレスを味方につけるコツ！—— 日伊総合研究所報, 15, 36-37.
- 7) 太田 研・鈴木 勲 (2019). 研究6-1・6-2 (追加) 放課後児童クラブにおける事故・災害マニュアルに関するインタビュー調査 放課後児童クラブの事故・災害対応策マニュアルに関する調査研究 (pp. 追加調査1-20) 平成29年度子ども・子育て支援推進調査研究事業報告書.
- 8) 太田 研 (2019). 放課後児童支援員等に求められる専門性及び資質向上のあり方に関する調査研究——インタビュー調査—— 放課後児童支援員等に求められる専門性及び資質向上のあり方に関する調査研究 (pp. 147-194) 平成30年度子ども・子育て支援推進調査研究事業報告書.
- 9) 太田 研・遠藤 愛 (2019). 幼児の身体像に接近するための臨床描画法に関する実証研究 カシオ科学振興財団第35回研究助成成果報告論文, 76-77.
- 10) 太田 研 (2020). 公開講座報告 幼児期からのセルフマネジメントプログラム 日伊総合研究所報, 16, 32-35.

(5) 科研費等研究

[研究代表者]

- 1) 太田 研：軽度知的障害のある生徒の作業生産性に及ぼす公的目標設定と私的目標設定の影響, 日本カトリック短期大学連盟学術研究奨励賞, 2017年.
- 2) 太田 研・遠藤 愛：幼児の身体像に接近するための臨床描画法に関する実証研究, 公益財

団法人カシオ科学振興財団第35回研究助成，2017年12月—2018年12月。

- 3) 太田 研：A Case Study on the Relationship Between Kinetic School Drawings by Preschool Children and Play on the Preschool Playground，日本保育学会若手会員派遣支援，2019年
- 4) 太田 研：重度知的発達症児の適応行動増進を目指すアシスティブ・モニタリング技術の開発，科研費（若手研究），課題番号：19K14305，2019年4月—2022年3月
- 5) 太田 研：保育施設において子どもの精神的健康を促進するための自然体験活動の同定，日本社会福祉マネジメント学会福祉研究費助成，2020年4月—2021年3月

[研究分担者]

- 1) 学校教育実践における自己モニタリングシステムを組み入れた行動改善プログラムの開発，科研費（基盤研究（C）），課題番号：17K04916，2017年04月—2020年03月，研究代表者：霜田浩信（群馬大学）
- 2) マネジブル・ビデオフィードバックによる新たな学校コンサルテーションモデルの開発，科研費（基盤研究（C）），課題番号：18K02792，2019年04月—2021年03月，研究代表者：須藤邦彦（山口大学）

(6) その他

- 1) 太田 研 (2015-16)．だいじょうぶ！心と体すこやか相談室 日本カトリック幼稚園連盟『ひかりの子』連載記事，計8頁。
- 2) 太田 研 (2016)．高等学校における特別支援教育——通級指導教室具現化のための条件—— 埼玉県特別支援教育研究協議会第56回加須大会報告集，23。
- 3) 太田 研 (2017-18)．だいじょうぶ！心と体すこやか相談室 日本カトリック幼稚園連盟『ひかりの子』連載記事，計8頁。
- 4) 太田 研 (2017)．高等学校における校内支援体制の学校間差の要因と就労に向けた支援 埼玉県特別支援教育研究協議会第57回川越大会報告集，24。
- 5) 太田 研 (2020)．国際的な視点から描画の解釈を再考する 日本保育学会会報，176，16。

II. 主な社会活動

1. 所属学会・職能団体および役職等

日本行動分析学会、日本認知・行動療法学会、日本臨床発達心理士会、日本特殊教育学会、日本LD学会、日本発達障害支援システム学会、日本授業UD学会、日本保育学会、こども環境学会、日本子ども学会

2. 行政・関係団体活動等

- 1) 武蔵村山市特別支援教育専門委員会委員（2014年4月—現在に至る）
- 2) 武蔵村山市入級支援委員会委員（2014年4月—現在に至る）
- 3) 埼玉大学教育学部受託「発達障害の可能性のある児童生徒に対する早期支援・教職員の専門性向上事業」学識経験者（2014年4月—2017年3月）
- 4) 日本行動分析学会『行動分析学研究』ゲストレビューアー（2018年5月—2019年4月）

- 5) 一般社団法人東京特別支援教育心理研究センター運営委員 (2019年4月—現在に至る)
- 6) 山梨県教科用図書選定審議会委員 (2020年4月—現在に至る)

3. 研修会・講演会等

- 1) 埼玉県特別支援教育研究会研究協議会指導者 (2014年—2018年)
- 2) 埼玉県子育て相談事業実務者研修会講師 (2016年—2017年)
- 3) 埼玉県教育局県立学校部特別支援教育課西部地区コーディネーター研修会講師 (2016年—2019年)
- 4) 埼玉県福祉部福祉政策課発達支援サポーター育成研修講師 (2016年—2019年)
- 5) 埼玉県総合教育センター特別支援教育コーディネーター研修会講師 (2017年—2019年)
- 6) 埼玉県総合教育センター家庭教育支援研修会講師 (2018年—2019年)
- 7) 埼玉県保育士会「秋の研修会」分科会講師 (2018年)
- 8) 埼玉県教育局県立学校部特別支援教育課北部地域連携研修会講師 (2018年)
- 9) 東京都東村山市私立幼稚園父母の会 (PTA) 連合会定期大会講師 (2018年)
- 10) 埼玉県鴻巣保健所管内保健衛生活動連絡協議会主催研修会講師 (2018年)
- 11) 埼玉県戸田市内保育園発達支援研修会講師 (2019年)
- 12) 埼玉県保育士等キャリアアップ研修「障害児保育」講師 (2019年)
- 13) 埼玉県南部保育士会研修会講師 (遠隔書面研修) (2020年)
- 14) 山梨県立大学教員免許状更新講習「教育の最新事情」講師 (2020年)
- 15) 山梨県立大学受託子育て支援員研修講師 (2020年)
- 16) 山梨県私立幼稚園連盟中部地区研究会講師 (2020年)

奥谷 佳子

I. 主な研究活動

1. 著書・論文・作品発表・演奏等

研究ノート

- (1) 山崎宣次・奥谷佳子・吉田真弓 2020 幼稚園教育要領等の「内容」に関する保育者の意識 山梨県立大学人間福祉学部紀要 15. 59-67.

2. 学会発表

口頭発表

- (1) 奥谷佳子 2019 幼稚園の協同的な遊びや活動における保育所の質問—4歳児担任保育者と5歳児担任保育者の比較— 日本乳幼児教育学会第29回大会研究発表論文集 76-77. (2019年12月7日(土) 東北文教大学短期大学部)

ポスター発表

- (1) 奥谷佳子 2020 幼稚園の4・5歳児クラスの協同的な遊びや活動における保育者の質問—幼児の意図を問う質問の形式と連鎖の分析— 日本保育学会第73回大会発表論文集 P-535-P-536. (2020年5月16日(土) 奈良教育大学 だたし会場には参集しない)

3. 表彰

- (1) 日本乳幼児教育学会 2019年度 第17回新人賞
論文「幼稚園の協同的な遊びや活動における保育者の言語的援助—4、5歳児クラスでの観察調査に基づく保育者の「質問」の分析—

II. 主な社会活動

1. 所属学会・職能団体および役職等

日本保育学会

日本乳幼児教育学会

日本臨床発達心理士会

2. 研修会・講演会等

- (1) 子育て支援員研修 地域保育コース(地域型保育) 講師 「子ども・子育て家庭の現状」「保育の原理」担当 2020年9月2日 主催：山梨県福祉保健部子育て支援課 会場：アイメッセ山梨
- (2) 山梨県私学教育振興会山梨県私立幼稚園連合会 中部地区研究会講師 第2分科会「同僚性を育む“語り合い”“学び合い”」担当 2020年7月29日、10月14日、11月18日 主催：山梨県私学教育振興会山梨県私立幼稚園連合会 会場：中部地区の幼稚園

里見 達也

I. 主な研究活動

1. 著書・論文・作品発表・演奏等

(1) 著書

- ・共著『保育者になる人のための実習ガイドブック AtoZ- 実践できる！保育所・施設・幼稚園・認定こども園実習テキスト』名須川知子（監修）田中卓也・松村齋・小島千恵子・岡野聡子・中澤幸子（編著）（担当：第14章「実習での子どもやほかの保育者との関わり」）150-168頁、萌文書林、2020年3月30日

(2) 論文

- ・共著「障害者福祉分野のソーシャルワークにおける食事支援・栄養指導の重要性ー社会福祉士と管理栄養士および特別支援学校教諭との連携再考ー」山梨県立大学『人間福祉学部紀要』第15号、79-89頁、2020年

2. 学会発表

- ・なし

3. 報告書

- (1) 共著「おわりに」、『令和元年度山梨県幼稚園教育研究協議会報告書』、2020年2月

4. 科研費等研究

- ・なし

5. その他

- ・なし

II. 主な社会活動

1. 所属学会・職能団体および役職等

日本乳幼児教育学会、日本保育学会、日本特殊教育学会、日本臨床教科教育学会、日本育療学会、日本教育心理学会、日本応用教育心理学会、日本福祉教育・ボランティア学習学会、日本肢体不自由教育研究会、全日本特別支援教育研究連盟、山梨県心理リハビリテーション研究会

2. 行政・関係団体活動等

- (1) 山梨県幼稚園教育研究協議会 副会長
- (2) 山梨県立盲学校 学校評議員
- (3) 山梨県立あけぼの支援学校 学校評議員
- (4) 社会福祉法人八ヶ岳名水会評議員
- (5) 社会福祉法人しあわせ会評議員選任・解任委員

3. 研修会・講演会等

- (1) 甲府市北部幼児教育センター 月齢別講座 1歳3ヶ月～2歳未満児コース 「子どもとのかかわり方について」講師、2018年10月20日、会場：甲府市北部幼児教育センター
- (2) 令和元年度山梨県放課後子ども総合プラン推進事業指導者研修会「気になる子どもたちの理解と支援方法及び情報交換」講師、2019年9月13日、会場：山梨県立青少年センター
- (3) 令和2年度第1回山梨県児童厚生二級指導員研修会「健全育成論」講師、2020年6月19日

- 日、会場：山梨県立青少年センター
- (4) 令和2年度第2回山梨県児童厚生二級指導員研修会「児童の発達理論」講師、2020年7月3日、会場：山梨県立青少年センター
- (5) 令和2年度子育て支援員研修会「A4保育の原理」・「A7子どもの障害」・「B7地域の環境整備」・「B9保育者の職業倫理と配慮事項」・「B10特別の配慮を必要とする子どもへの対応」・「C6a～c見学」講師、2020年9月3・10・18日、会場：(9/3・18) アイメッセ山梨・(9/10) ひゅあ総合

高野 牧子

I. 主な研究活動

1. 著書・論文・作品発表・演奏等

(1) 論文

- ・(共著) 高野牧子・濱口由美 (2020) 「レッジョ・エミリア市における芸術教育
ー「レッジョ・ナラ」を中心にー」山梨県立大学人間福祉学部紀要 vol.15,pp.12-22
- ・(共著) 高野牧子・八木ありさ (2020) 「ジェンダー視点からの期待ー女性体育指導者の立場よりー」体育の科学, 70巻8号

(2) 学術雑誌

- ・(単著) 高野牧子 (2020) 「ダンスとの多様な関わりとゴールフリーのダンス指導」『女子体育』6・7月号, pp.46-49

2. 学会発表

- ・単独、口頭発表「命の教育」ードイツでの「森のようちえん」の事例をもとにー」
第73回日本保育学会、2020.5.17. 奈良教育大学

3. 科研費等研究

- ・単独「身体表現・ダンス教育による接続カリキュラム構築」(平成27年度～31年度)
課題番号15K01525

II. 主な社会活動

1. 所属学会・職能団体および役職等

公益社団法人 日本女子体育連盟 副会長

日本体育学会、舞踊学会、日本保育学会、日本発育発達学会、体育科教育学会、
山梨県女子体育連盟理事

2. 行政・関係団体活動等

(1) 2020横浜スポーツ学術会議 総務委員、学術委員

(2) 山梨県保育問題検討委員会委員長

(3) 山梨県子ども・子育て会議委員

(4) 昭和町子ども・子育て会議副委員長

(5) 山梨市子ども・子育て会議委員

3. 研修会・講演会等

(1) 富士河口湖町子育て支援(2歳児コース) 講師 年7回

(2) 富士河口湖町子育て支援(3歳児コース) 講師 年4回

(3) Fuji こどもの家バンビーノの森、身体表現活動講師 年3回

(4) (公社) 日本女子体育連盟「IAPESGW 国際会議 in JAPAN に向けての第1回研修会」
講師 2020.8.22. Web 開催

(5) (公社) 日本女子体育連盟夏季講座 学校体育コース講師 2020.11.15.Web 開催

(6) 令和2年度子育て支援員研修 講師

2020.9.2. アイメッセ、2020.9.7,16,17, 女性総合センター

鳥居美佳子

I. 主な研究活動

1. 著書・論文・作品発表・演奏等

研究ノート

(共著) 大津雅之・鳥居美佳子・里見達也「障害者福祉分野のソーシャルワークにおける食事支援・栄養指導の重要性－社会福祉士と管理栄養士および特別支援学校教諭との連携再考－」山梨県立大学人間福祉学部紀要第15号、79-89 (2020年3月)

II. 主な社会活動

1. 所属学会・職能団体および役職等

日本家政学会、日本機能性食品医用学会、日本食育学会、日本産前産後ケア・子育て支援学会、日本子育て学会、小児栄養研究会

2. 行政・関係団体活動等

- (1) 食育推進全国大会山梨県実行委員会委員
- (2) 山梨経済同友会「やまなし女性にプラス！」プロジェクト委員会委員

3. 研修会・講演会等

- (1) 研究会助言者 山梨県私学教育振興会幼稚園部会西部地区研究会 (2020年1月)
- (2) 研究会助言者 令和元年度山梨県私立幼稚園教育研究大会第1フォーラム (2020年2月)
- (3) 講座講師 山梨県子育て支援員研修 (2020年9月)
- (4) 講座講師 韮崎市ファミリーサポート養成講座 (2020年10月)

古屋 祥子

I. 主な研究活動

1. 著書・論文・作品発表・演奏等

<著書・論文等>

- (1) 古屋祥子、林聖香 (2020) 「素材を核とした芸術教育支援プロジェクトの効果と課題ー山梨における実践の検証からー」『山梨県立大学人間福祉学部紀要第15号』 pp23-36
- (2) 古屋祥子、武末裕子、種市純美 (2020) 「リユース素材を使った図画工作科授業の実践ー弱視児童のための連携授業からー」『山梨県立大学人間福祉学部紀要第15号』 pp68-78

<美術作品発表>

- (1) 古屋祥子、石川智弥「耳の時代」(立体作品) 手でみる展覧会2019 [山梨県立図書館] 2019, 11
- (2) 古屋祥子、石川智弥「ミロとフレロ」(立体作品) 是空美術展 [ひらしお源氏の館] 2019.9～11

2. 科研研究費

- (1) 日本学術振興会科学研究費助成事業 基盤研究C「地域連携による触覚鑑賞ツールについての調査・開発研究」研究分担者 H30～32年

II. 主な社会活動

1. 所属学会・職能団体および役職等

日本藝術メダル協会 (J.A.M.A.)、国際メダル協会 (F.I.D.E.M.)、美術教育研究会、美術解剖学会、大学美術教育学会

2. 行政・関係団体活動等

- (1) 山梨大学・山梨県立大学・山梨県立図書館共催事業「手でみる展覧会2019」実行委員
- (2) 山梨県立盲学校100周年記念事業 記念キャラクター選考アドバイザー

3. 研修会・講演会等

- (1) 認定こども園 Fuji こどもの家バンビーノの森 美術活動 講師 2020.10
- (2) 認定こども園 学校法人市川幼稚園 美術活動 講師 2020.10

山崎 宣次

I. 主な研究活動

1. 著書・論文

<論文>

- ・2020/02漢字と計算に関する学習意欲と正答率について（共著）岐阜大学カリキュラム開発研究,Vol.36 No.1, 岐阜大学教育学部附属学習協創開発研究センター ,pp.108-116
- ・2020/02 テクノロジーを活用した豊かな学び評価尺度の開発と予備調査（共著）岐阜大学カリキュラム開発研究,Vol.36 No.1, 岐阜大学教育学部附属学習協創開発研究センター ,pp.9-14
- ・2020/02 小学生の漢字・計算に対する学習意識に関する調査（共著）岐阜大学カリキュラム開発研究,Vol.36 No.1, 岐阜大学教育学部附属学習協創開発研究センター ,pp.131-138
- ・2020/09/30「JKビジネス」の現状に見る「JK」のブランド・マネジメントの特質と社会政策への示唆－ JKビジネス就業当事者への聞き取り調査を中心に－（共著）研究紀要,第100号, 日本大学文理学部人文科学研究所 .pp.141-158

2. 学会発表

- ・2020/2/29漢字・計算学習に対する児童の学習意識と正答率の関係（第36回日本教育工学会 春季全国大会（信州大学 zoom 発表））
- ・2020/8/23 保育業務の現状と業務の情報化の課題（日本教育報学会 第36回年会（札幌学院大学 論文発表））
- ・2020/8/23 仮説的推論を活用した学習デザインによる児童の学習記録の変容（日本教育報学会 第36回年会（札幌学院大学 論文発表））
- ・2020/8/23 テクノロジーの活用が「豊かな学び」に与える影響（日本教育報学会 第36回年会（札幌学院大学 論文発表））

3. 外部資金

- ・アブダクションを用いた豊かな学びモデル開発
日本学術振興会 科学研究費助成：基盤研究(C)
研究期間：2019年4月 - 2021年3月 代表者：加藤直樹（岐阜大学）、研究分担者：山崎宣次ほか
- ・学力向上のための基盤作りに関する調査研究
文部科学省（テーマ3：効果的な補充学習・家庭学習の実施）
研究期間：2019年4月 - 2021年3月 契約者：岐阜県羽島市教育委員会、分析専門チーム担当：山崎宣次ほか

II. 主な社会活動

1. 所属学会

日本理科教育学会・日本科学教育学会・日本教育工学会・日本教育情報学会・
教育システム情報学会・人間福祉学会・子どもと自然学会

2. 行政・関係団体活動等

- 2020年4月～現在 甲府市廃棄物減量等推進審議会委員
- 2017年8月～現在 岐阜大学教育学部附属学習協創開発センター プロジェクト研究員
(タブレット PC 教育利用研究)
(産官学による学力向上協創プロジェクト)